
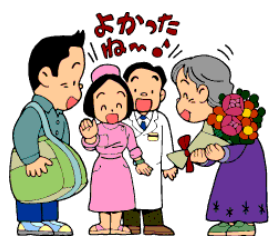


病棟 号室 病名: 主治医: 担当看護師:
 患者署名: 様 No138 腰部脊柱管狭窄症の手術を受ける患者様へ① 担当医: 説明者:
 ~経口補水療法~ 特別な栄養管理の必要性: 有 無

月日		／	／	／
経過		入院日	手術前日	手術当日(術前)
目標				
処置		手術に対する不安が最小限である。		
治療		<ul style="list-style-type: none"> 持参薬がある場合は看護師にお知らせ下さい。 (目薬・貼り薬・塗り薬も教えて下さい) 抗凝固薬や抗血小板薬などの血栓を予防する薬の内服は、内容を確認するのでお知らせ下さい。 痛みがある場合はお知らせください。坐薬や飲み薬を使います。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要物品のチェックを行います。 爪を切ります。 マニキュアは予め落として下さい。 麻酔科医の診察があります。 内服薬は医師の指示に従って服用していただきます。 眠れそうにない時には、早めに看護師にお知らせ下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示のあった薬のみ内服します。 血栓予防のため、両足に弾性ストッキングを着用します。
検査測定		<ul style="list-style-type: none"> 入院時、体温、脈拍、血圧などの測定を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術前に体温、脈拍、血圧の測定を行います。
入院生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事の制限はありません。 ただし、治療食の必要な方は適宜変更します。()食です。 10階食堂をご利用される方は、お申し出下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 21時以降、食事することはできません。 飲水は可能です。 (指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、食事はできません。 AM6時30分・AM10時 まで飲水は可能です。 (指示のあった飲料水を摂取してもらいます)
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 特に活動の制限はありません。 痛みの様子をみながら動けます。 		
	清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーにお入りください。 (介助が必要な方は、看護師がお手伝いします。) 		
	リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示により手術前からリハビリを開始する場合があります。 術後の褥瘡予防の為、寝返り・腰上げの練習をしましょう。 		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 担当医から手術の説明があります。 麻酔科医師からの説明があります。 看護師から入院のオリエンテーションとクリティカルパスの説明を行います。 手術同意書を看護師に渡して下さい。 薬剤師により内服薬の説明をさせて頂くことがあります。 			

手術までに
 ☆普段からの運動が大切です。腰上げ運動や足の曲げ伸ばしをしましょう。障害のない部分の筋肉まで衰えてしまうのを防ぎましょう。
 ☆ベッド上で動かないことで、血管の中で血の塊ができ血流を阻害してしまう恐れがあります。予防のために両方の足首をしっかり曲げ伸ばしする運動を行いましよう。

No138 腰部脊柱管狭窄症の手術を受ける患者様へ②
～経口補水療法～

月 日	/	/	/	/	/	/	/	
経 過	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4～6日目	術後7日目	術後8～9日目	
目 標	麻酔・手術後の経過に問題がない。(バイタルサインが安定し、合併症が起こらない。)							
処 置	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスクは、指示があるまでつけておきます。 ・翌日まで点滴をします。 ・また、8時間ごとに抗生剤を投与します。 ・尿道に管が入ってきます。 ・傷口近くから排液用のチューブバックが入ってくる場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後の消毒は基本的に必要最小限となります。 ・抗菌剤の点滴があります ・点滴終了後、抜針します。 ・朝から手術前の飲み薬を再開します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷口近くに排液用チューブバックが入っている場合はチューブを抜きます。 ・弾性ストッキングを脱ぎます。 			<ul style="list-style-type: none"> ・傷口の消毒は医師が適宜行っています。 	 	
治 療	<ul style="list-style-type: none"> ・血栓予防のため、両足に器械(フットポンプ)を装着します。 ※自分自身で足首をよく動かすことが重要です。 ・痛みがある時は、坐薬や注射などの痛み止めを使用できます。看護師へ声をおかけください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から手術前の飲み薬を再開します。 ・尿管に入っている管を抜きます。 ・フットポンプを外します。 						
検 査	<ul style="list-style-type: none"> ・病室直後より翌日の朝まで、体温・脈・血圧などの測定を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行いません。 		<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行います。 ・手術部位のレントゲン撮影があります。 		
測 定								
入 院 生 活	食 事	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日は禁飲食です。但し、飲水は酸素終了後、または医師の許可が出てから可能になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から食事が始まります。 					
	リハビリ		<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドサイドにてリハビリを行います。 ・状態によって、コルセットを装着して起立・歩行練習を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリセンターでリハビリを行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・退院前または外来にて抜糸を行います。 ・退院前までに薬剤師より必要な薬についての説明をします。 ・退院前までに理学療法士より退院後のリハビリについての説明をします。 	
	活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上安静となります。 ・体の向きを変えるときなどは看護師がお手伝いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ以外でもベッド上で自己にて出来る運動を始めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟内を杖や歩行器で歩くことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内を歩行器で歩くことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内を自由に歩くことができます(術後6日目以降) 		<ul style="list-style-type: none"> ・退院に際して、気になる事がありましたら、医師・看護師・理学療法士・薬剤師などにお尋ね下さい。担当者から、説明させていただきます。
	清 潔	<ul style="list-style-type: none"> ・排便の際はベッド上で差し込み便器を使用します。 					<ul style="list-style-type: none"> ・傷口を保護した状態でシャワーに入ることができます。 	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> (ご家族の方へ) 手術後、医師より手術について説明をいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の生活について不安なことや心配なことがあれば、看護師にご相談ください。 						